

「地域発 元気づくり支援金」（平成26年度実施分）事業評価一覧表

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費(単位:円)		評価に係る意見
						事業費	うち支援金額	
1	地域協働の推進	ハード	中野市	<継続> 手づくり農村支援事業	農業農村整備の推進を図るとともに、農村の自立を促す契機とすることを目的に、地域住民が発意し、施設管理者、農家、地域住民が協働して行う土地改良施設の補修・整備の直接施工や維持管理活動を支援する。 ②農道のコンクリート舗装や水路整備に係る原材料の支給等 農道舗装9地区(8,173千円)、水路改修1地区(876千円)	9,049,760	3,420,000	直接施工により少ない経費で農業施設が整備され、運搬時の荷痛み防止等の成果を上げるとともに、住民参加の地域活動として自立した農村づくりを促す効果をもたらしている。
2	教育、文化の振興	ソフト	中野市	唱歌「故郷」「朧月夜」誕生100周年記念事業	「故郷」「朧月夜」誕生100周年を機に、バラまつり関連イベントとして音楽交流による新たなまちづくりに繋げるため「童謡・唱歌のふるさとアンサンブルフェス」を開催する。 併せて、中野市出身の高野辰之の足跡を再認識し、その功績と「故郷」「朧月夜」などの唱歌を広くアピールするための記念祭を開催する。 ①アンサンブルフェス開催経費(2,944千円)、高野辰之記念祭開催経費(574千円)	3,518,397	1,968,000	音楽都市としてのイメージアップと知名度の向上を図ることができた。また、出演団体との友好関係構築により新たな都市交流への機運が高まった。
3	地域協働の推進	ハード	飯山市	<継続> 協働のむらづくり事業	住民(区)と市が協働して、農林業用施設(農道・林道・水路)を整備することにより、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定37箇所、うち支援金対象:農林道舗装等11箇所、水路改修9箇所②原材料購入費(7,940千円)	7,940,767	3,218,000	農道等の整備により、施設の老朽化等に伴う耕作放棄を未然に防止することが出来た。また、地域住民が互いに協力し、創意工夫することで、より地域に即した整備を進められるようになった。
4	地域協働の推進	ハード	山ノ内町	<継続> 地域協働で農業に活力を与えるための施設整備(農道舗装)	地域住民が自立的に実施する農道舗装に原材料支給等で支援することにより、通行の安全確保、果実運搬時の荷痛み減少を図り、高齢化や後継者不足に悩む農業への生産意欲の向上と安定した農業経営につなげる。また、協働作業を通じて住民同士の交流、農道管理意識の向上を図る。 ②農道舗装3地区 原材料費(1,677千円)、重機借上料(384千円)、広報表示、看板作成費(45千円)	2,107,253	889,000	地域住民自ら農道整備を実施することにより、荒廃地化の防止、農村景観の保全が図られるとともに、住民の自立意識の醸成、行政経費の縮減につながった。
5	環境保全、景観形成	ソフト	木島平村	<継続> メエメエ草刈り隊事業	25年度主要地方道飯山・野沢温泉線の樽川橋ポケットパーク周辺の堤防沿いで本事業を実施したところ、駆除の効果もさることながら、牧歌的な風景が話題を呼んで新聞、テレビ等を通じて情報発信されたため、大きな反響があった。26年度は木島平スキー場等の観光スポット入口となる農産物直売所周辺に場所を移し、本施設のPRや魅力アップにつなげていく。 ①柵(164千円)、損害保険(21千円)、保険料・餌等(50千円)、小屋移設費(295千円)	510,718	408,000	「ヤギのいるのどかな農村風景」がマスメディアに取り上げられ、ヤギを目当てに訪れる人が増えた。また、ヤギの放牧が地域の方に波及するなど、木島平村らしい牧歌的風景のイメージアップに寄与する事業となったが、本来目的である外来種の駆除については大きな効果を得られなかった。
6	地域協働の推進	ハード	野沢温泉村	<継続> 手づくり農道舗装等事業	農業従事者が高齢化する中、農山村景観の保全と農用地の荒廃地化防止を図るため、農作業の労力を軽減と生産意欲の向上、農用地の流動化を目指し農家・非農家が協力して自らが行う農道舗装等に対し、村が原材料を支給する。 ②原材料支給・農道舗装(3,620千円)、林道舗装(2,919千円)、水路改修(67千円)	6,607,051	3,515,000	地域住民自ら農道整備を実施することにより、遊休荒廃地化の防止、農村景観の保全が図られるとともに、住民の自立意識の醸成、行政経費の縮減につながった。

7	地域協働の推進	ハード	栄村	<継続> 農地等国土保全事業	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給・農道舗装(916千円)、水路改修(1,008千円)	1,925,071	642,000	地域住民自ら農道及び用排水路を整備することにより、農地荒廃の抑制や維持管理作業の軽減が図られるとともに、住民の自立意識の醸成や経費の削減につながった。
8	商業の振興	ソフト	中野陣屋光と音のシンフォニー実行委員会(中野市)	<継続> 中野陣屋・県庁記念館周辺イルミネーション装飾事業	中野陣屋・県庁記念館を中心に地元高校生と協力してイルミネーションの装飾を行い、併せて地元の音楽家によるコンサートの実施や商店会と共催でワンコインセールなど実施することで、中心市街地の活性化を図る。 ①イルミネーション購入費(3,647千円)、ミニコンサート出演料(140千円)、広告宣伝費(170千円)	3,990,490	2,945,000	冬季の中心市街地への誘客対策としてイルミネーション装飾を行うことにより、地元商業者や高校生のまちづくりへの参画意識を高めることができた。また、併せて開催したミニコンサートにより地元音楽家の発掘と音楽都市としての魅力発信につながった。
9	商業の振興	ソフト	中野市商店会連合会(中野市)	ワンコインセール事業	個店が経営体力をつけるためには、顧客にとって魅力ある商品やサービスを作り出すことが必要不可欠である。 そこでやる気のある店舗が連携してある一定期間、500円(ワンコイン)で魅力ある商品やサービスを企画し、提供する「ワンコインセール」を行う。 ①印刷費(242千円)、のぼり旗制作費(114千円)、折込費(77千円)	434,200	300,000	期間限定で参加店がワンコイン(500円)で商品・サービスを提供する企画が次第に市民に認知されてきている。
10	地域協働の推進	ソフト	中野青年会議所(中野市)	<継続> 「ばら」を題材とした特産物を使った地域活性化イベント事業	地域ブランドとして定着した「ばら」を題材にした特産品を開発するため、「ばらかるた」を制作する。バラまつり期間中に地元小学生を中心に読み札の募集を行い、制作したものは地域を学ぶ教材として全小学生に配布する。 ①ばらかるた制作費(1,514千円)、審査経費(74千円)、ジャンボばらかるた大会開催経費(35千円)	1,636,120	1,226,000	「バラまつり」の開催など「地域ブランド」としてばらのイメージは定着しているところだが、ばらを題材とした特産品の開発として小中学生と地域住民が協働で「ばらかるた」を製作したことは次代を担う世代への意識付けとして着眼点が高いと評価できる。また、中野市のみならず山ノ内町の小中学生から多くの読み札の応募があったことは、広く地域ブランドとしての意識の向上が図られた結果であり、また今年度もばらのまちとして全国へ発信する活動が展開されている。
11	保健、医療、福祉の充実	ソフト	おはなし♡びっくりばこ(おとこぐみ)(中野市)	「お父さんの読み聞かせ」講演会と実践発表	父親の子育て参加の具体的な取り組みの一つとしてお父さんによる読み聞かせがある。読み聞かせは子どもにとっても父親にとっても大変有意義なものであり、読み聞かせを通じた父親の子育て参加を促すために、講演会と実践発表会を開催する。 ①講師謝礼(341千円)、印刷製本(148千円)、絵本(55千円)	600,428	450,000	「イクメン」という言葉が生まれたものの実際どのように育児に関わったらいいか戸惑う父親が多い中、「お父さんによる読み聞かせ」は県内400以上ある「読み聞かせの会」でも唯一の男性グループといわれており、父親による育児スタイルの方法の一つを提示し、モデル性が高いと評価できる。これを機に父親会員が増え、今年度は様々な要請を受け市外にも活動の場が広がっており、更なる飛躍が楽しみな事業である。
12	地域協働の推進	ソフト	第23回ばら制定都市会議実行委員会(中野市)	第23回ばら制定都市会議(ばらサミット)	ばらによるまちづくりを行っている全国22団体で組織している「ばら制定都市会議」(通称バラサミット)を26年度中野市で開催することとなった。今回は構成自治体相互の情報交換に留まらず、地域住民も参加し、より多くの人々にバラによるまちづくりの取り組みを知ってもらうため「なかのバラまつり」にあわせて開催する。 ①講師謝金等(1,089千円)、サミット運営費(1,163千円)、印刷費(1,630千円)	3,883,039	2,633,000	「ばら制定都市会議」(通称バラサミット)の組織22団体のうち9団体が参加しての事例発表、記念講演が開催され、知識・技術の向上が図られた。
13	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ハード	中野市豊田農産物加工施設利用組合(中野市)	地域特産物冷凍食品加工事業	地域で生産された野沢菜、ぼたんこしょう、キノコ、大根、かぼちゃなどを使用した「おやき」を年間通して製造販売しているが、今後更なる販路の拡大や安定的な食育教育を実施するため、製造した「おやき」や「具材」を急速冷凍し、冷凍食品化するための凍結庫及び冷凍庫を購入する。 ②凍結庫(1,433千円)、冷凍庫(625千円)	2,055,000	1,370,000	冷凍加工事業が充実したため販路が拡大し、地域の女性の雇用拡大につながった。また、地域食材を使用しているため地域の産業振興にも貢献している。

14	特色ある観光地づくり	ソフト	信越9市町村広域観光連携会議(飯山市)	<継続> 信越9市町村広域観光連携事業	25年度はエリア名「信越自然郷」や認知度の低い「北陸新幹線飯山駅」のPRを集中的に実施してきた。26年度は開業年度を迎えるため、開業機運を高めるためのイベント、県外でのキャンペーン、地域イベントでのPRや地域を担う中心的人材の育成に力を入れ、開業に向け最後の追い込みを行う。 ①開業前イベント、キャンペーンの実施(8,256千円)、プロモーションの実施(11,705千円)、エリアマネジメント人材育成(959千円)、おもてなし研修会の開催(487千円)、お土産品の研究、開発(432千円)	25,243,256	10,000,000	県と連携して北陸新幹線飯山駅開業に向けたイベントやプロモーションを実施するとともに、食、土産品等の情報発信を行った。信越自然郷エリア内の住民が、銀座NAGANOや信越自然郷うまいもの市を活用して、自ら情報発信することにより、広域連携意識や開業機運を高めることが出来た。 北陸新幹線飯山駅の開業が、観光関連産業の振興や地域経済の活性化に一層寄与するよう、今後も9市町村、地域住民、県等と連携した事業展開を期待する。
15	教育、文化の振興	ソフト	北信州スノースポーツ活性化協議会(飯山市)	長野県教育におけるスノースポーツ活性化事業	これまで子供達へのスノースポーツの普及と教職員向けの指導用教材の作成及びスキー・スノーボード大会の開催を行い、北信地域におけるスノースポーツ再興に向けた取り組みを行ってきた。26年度は北信地域での取り組みを全県に広げるため環境整備を行々とともに、引き続き教職員向けのスノースポーツ講習会を開催する。 ①教職員スキー・スノーボード講習会開催経費(632千円)、博物館見学研修費(360千円)	1,004,832	744,000	これまで北信地域で行ってきたスノースポーツ再興に向けた取組を全県に広げるため、県教育委員会等との懇談などを行った。日本スキー博物館見学研修の利用者が増加し、県教職員スキー・スノーボード大会・講習会には中信や南信地域からも参加する等、これまでの取組が広がりがつつある。
16	地域協働の推進	ソフト・ハード	ふるさとのジャズ交流祭実行委員会(飯山市)	斑尾ジャズ2014	26年で8年目を迎える「斑尾ジャズ2014」は、北陸新幹線飯山駅開業前のプレイベントと位置づけ、「飯山駅」「信越自然郷」を大きくPRするイベントとするため、インターネット放送局を開局し、全国・世界に向けてイベントの様子をライブ中継する。 また、併せてスポンサー撤退に伴う機材等を整備する。 ①告知・印刷経費(342千円)、機材・舞台等経費(2,751千円)、 ②アンプ、ドラムセット(878千円)、テント(1,061千円)	6,762,910	1,314,000	8月23日、24日に斑尾高原で開催し、参加演奏家・観客とも過去最大の大会となった。「飯山駅」「信越自然郷」を様々な方法でPRし、地元住民と協働で千曲川流域の「食」の情報を発信するブースを設ける等、地域活性化や地域経済への波及につながった。地元住民もボランティア等として関わったが一部にとどまったため、今後は更に活動の幅が広がることを期待する。
17	地域協働の推進	ソフト	北陸新幹線飯山駅プロジェクト実行委員会(飯山市)	北陸新幹線飯山駅プロジェクト	開業200日前の2014年夏に、他には例のない注目度の高いPRイベントとして「新駅での3Dプロジェクションマッピング」を観客参加型で実施し、マスメディアやSNSを通じて「飯山駅」「信越自然郷」を全国・全世界へ向け情報発信する。 ①映像機器(3,551千円)、音響機器(452千円)、機材電源(683千円)、運搬移動費(518千円)	5,426,072	4,159,000	北陸新幹線飯山駅開業200日前イベントと位置づけ、8月15日にプロジェクションマッピングを開催した。 駅舎のガラスには市民手づくりの紙スクリーンを設置し、開業機運を高めることが出来た。また、当日は約12,000人の観客が訪れ、SNS等を通じてPRを行った。
18	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	(公社)飯山地域シルバー人材センター(飯山市)	ぶらっと「ぶらり広場」元気づくり事業	街の中心に位置する空き店舗を改装し、会員と地域住民・観光客との交流の場を設置し、高齢者・子育て世代・子供向けの講習会を開催する。 ①講師謝金(89千円)、パソコン・プリンター(131千円)、ミシン(34千円)、ストーブ等(414千円)、広告費(57千円) ②改装費一式(163千円)	1,298,590	641,000	街の中心に位置する空き店舗を改装し、シルバー会員と地域住民、観光客との交流の場としてアンテナショップを開設した。各種講習会も開催し、ショップ等の利用者は、目標の3倍以上となる延べ2,185名であった。空き店舗を活用した有意義な取組だが、商店街との連携に広がりを持てなかったため、今後は連携が深まり誘客や地域活性化につながる活動を期待する。
19	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	北信州ハーフマラソン実行委員会(飯山市)	<継続> 野沢温泉村・木島平村・飯山市をコースとした北信州ハーフマラソンの開催	北陸新幹線飯山駅開業を記念する地域住民参画型の「マラソン大会」を開催し、地域の連携を深め、地元機運の醸成を図る。また、県外からの大会参加者に対しては北信州の魅力をアピールするきっかけとする。 なお、26年は県外参加者の比率を高め信越自然郷を広くPRし、大会運営への地元住民の積極的な参画を強化していく。 ①会場設営費(1,696千円)、参加賞(1,913千円)、関係者報償費(623千円)、レース関係費(4,980千円)、広告宣伝費(1,892千円)、参加案内等管理費(2,119千円)	13,227,524	2,500,000	北陸新幹線飯山駅開業のプレイベントとして野沢温泉村・木島平村・飯山市をコースとした第2回北信州ハーフマラソンを実施したところ、第1回を4大きく上回る申込みがあり、フィニッシュエリア隣で同時に開催した「信越自然郷うまいもの市」も約12,000人の来場者で賑わう等、北陸新幹線飯山駅を大いにPRすることが出来た。地域住民もボランティア等として参加しており、27年度の本大会も盛況が期待される。

20	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会(飯山市)	信越自然郷・五高原ロングライド2014	26年で5回目を迎える2014年大会では、北陸新幹線飯山駅開業と「信越自然郷」を大きくPRするとともに、今後開業後に見込める外国人誘致対策や、自転車を電車で移動する「輪行」の啓発等行う。 ①英語表記看板制作費等(432千円)、HP作成、JR広告費等(1,974千円)	3,878,007	1,267,000	「信越自然郷」の玄関口となる北陸新幹線飯山駅のPR及び活用事業として「信越自然郷」を巡るサイクリングイベントを開催したところ、地元住民がボランティアとして参加し、休憩所では地元食材を提供する等、有意義なイベントとなった。 今後は、北陸新幹線飯山駅を活用した参加者が増加するよう、輪行の啓発や受入体制の整備等、一層の取組を期待する。
21	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	奥志賀高原常会(山ノ内町)	<継続> 奥志賀高原リンドウの丘整備事業	25年に整備した遊歩道沿に地元中学生といっしょに「リンドウ」の移植を行うとともに、専門家を招いて奥志賀高原の自然に関する研修会を開催し、奥志賀高原の更なる魅力アップを図る。あわせて昨年10月の台風で流失した奥志賀溪谷散策路木橋の補修も行き、奥志賀高原の自然を満喫できる環境整備を行う。 ①ロープ杭(34千円)、案内看板(95千円)、ベンチ(70千円)、チラシ(207千円)②吊り橋設置一式(1,300千円)	1,764,106	765,000	奥志賀高原の魅力を高めるため、地元中学生、住民、観光客によるリンドウの移植、遊歩道の整備、また、奥志賀高原溪谷散策路の補修を行った。このことにより閑散期の観光客が前年比150%と増加するとともに地域住民や観光客と一緒に環境保全活動を実施することで、奥志賀高原に対する愛着につながった。
22	特色ある観光地づくり	ソフト	山ノ内町エコツアー実行委員会(山ノ内町)	志賀高原ロングライド	26年6月志賀高原は従来のユネスコエコパーク核心エリア及び緩衝エリアに加えて、周辺地域を新規緩衝エリア、移行エリアに変更承認を受ける予定であることから、国際的な称号「志賀高原ユネスコエコパーク」を広く全国に向けてアピールするため、サイクリングイベント「志賀高原ロングライド」を開催する。 ①看板制作(247千円)、スタッフジャンパー(300千円)、告知費用(1,280千円)	6,392,896	1,040,000	志賀高原から野沢温泉村までの美しい自然の中で、サイクリングイベントを開催し、志賀高原ユネスコエコパークや新幹線飯山駅開業をPRすることができた。また、閑散期のこの時期に、参加者のほか多くの宿泊者があった。今後更に発展することが期待される。
23	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	志賀高原観光協会(山ノ内町)	志賀高原ユネスコエコパーク 蓮池外来種駆除事業	26年9月に開催予定の国内初のユネスコエコパーク全国大会の主会場となる蓮池周辺は外来植物に覆いつくされ、昔の姿をとどめていない危機的状況であることから、地域住民総出で蓮池から外来植物を除去し、景勝地景観を維持する。 ①ウエーダー・鎌(136千円)、廃棄物撤去費用(513千円) ②深部の駆除作業工事(3,880千円)	4,540,456	2,401,000	地元地区、地権者、関係者、小学生が協働で志賀高原蓮池の外来種の駆除、湖沼の復旧を行い、テレビや新聞にも広く取り上げられた。こうした事例は志賀高原としては初めての取組であり、他の湖沼などへの景観整備事業につながっていくことが期待される。
24	農業の振興と農山村づくり	ハード	山ノ内町そば生産振興組合(山ノ内町)	山ノ内町そばのブランド化推進事業	25年度に策定した「須賀川地区集落再熱ビジョン」の中では、確立されたブランドである「須賀川そば」に磨きをかけ、品質の高い玄そばを使用した特産品開発を行うことが地域活性化の大きな鍵となると位置づけている。そのため、生産体制の再構築を行い、栽培面積の規模拡大に伴う必要な機械類を整備する。 ②コンバイン(5,248千円)、乾燥調整機(2,602千円)	7,851,230	4,606,000	須賀川そばのブランド化を推進するため、そばの栽培講習会やコンバインの導入、そばまつりの開催等を実施した。こうした地域の取組により、そばの等級検査受検率が0%→99.4%に向上したり、法印焼きの商品化につながった。
25	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	木島平のコメ文化伝承事業実行委員会(木島平村)	木島平のコメ文化伝承事業	平成22年から村や観光協会が主体となり継続して実施していたが、村全体を盛り上げるため住民主体の実行委員会を組織したところアイデアが出され、従来の早乙女による田植えに加え、野良着衣装の農民行列などを実施することとなった。また今回はイベント参加者に「信越自然郷」や「飯山駅」をPRしていく。 ①イベント経費(野良着衣装92千円、楽団謝金147千円、クリーニング代103千円)	483,368	353,000	村民が主体的に関わることにより、故郷に誇りを持つことができ、また北陸新幹線飯山駅のPRなどを行うことにより旅館飲食店などの収入につながった。今後も更に村民が主体となってイベントを継続していく仕組みが期待される。
26	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	木島平村ファンファーレ隊(木島平村)	音楽で木島平を活気づけよう!	25年木島平消防団ラッパ隊が北信地区で優勝したことが契機となって、音楽で村を活気づけることを目的とした「木島平村ファンファーレ隊」を結成。これを機にユニフォームや必要最低限の楽器を購入し、活動に弾みをつける。 ①トランペットほか(152千円)②トロンボーンほか(349千円)	501,470	346,000	新たな楽器を隊員が使えるようになるための講習会や、定期的な練習を行いつつ、新しい参加者も募っている。北信州ハーフマラソンや村民運動会などのイベントで発表を行い、ファンファーレ隊の存在を周知している。

27	その他 (産業の 振興及び 雇用の拡 大)	ソフト	なちゆるるスイー ツ(木島平村)	玄米粉「米っふる」で身 体も村も元気になろう！ プロジェクト！	木島平産の米、特に玄米を使った商品開発を行い、モニターテストを重ね、北陸新幹線飯山駅開業を見据え木島平村の特産品に育てていく。 ①調理器具、企画商品開発費(340千円)、発電機、のぼり旗出店経費(91千円)	432,084	318,000	木島平村産の玄米を使い、「米っふる(ワッフル)」と「こめっ と(ゴーフレット)」が試作品として形になってきており、これらを 村のイベントで提供し、アンケートをとりながらさらに改善を 重ねている。今後木島平村の特産品として広く販売される ことが期待される。
28	教育、文 化の振興	ソフト	飯水岳北地区教 育長会(野沢温 泉村)	日本の伝統芸能に学ぶ 事業	25年度野沢温泉村で実施した尺八、琴、能を通した伝統文化の理解 教育が生徒・保護者・教員等から好評だったことから、岳北管内の小中 学校で試行的に実施し、将来的には合同で発表会や演奏会を行うなど 地域間交流につなげていく。 ①尺八演奏会経費(講師謝金・旅費1,054千円)、能演奏会経費(講師 謝金、旅費583千円)、練習用尺八(160千円)	1,797,604	1,126,000	伝統芸能や音楽を鑑賞するだけでなく体験することにより 伝統文化を身近に感じ、興味を深めることができたといえ る。また、「能」の稽古や技の継承の実体験を聞く中で「礼 をつくす心」等の大切さを小中学生が学ぶ機会となり、実生 活において「あいさつの励行」や「学校生活での落ち着き」 がみられるようになったことは大きな成果といえる。引き続 き活動が継承されており、子ども達の成長が楽しみである。
29	その他 (産業の 振興及び 雇用の拡 大)	ソフト	合同会社野沢温 泉観光協会(野 沢温泉村)	北陸新幹線飯山駅開業 に伴うメディアトリップ事 業	北陸新幹線飯山駅開業の告知と、利用促進を目的に北陸、首都圏の メディア関係者を招き、開業により身近になる北信州エリアを実感してい ただくとともに、この地域の魅力を体感し、自社の紙面、電波で積極的な 情報発信を促す。 ①交通費(276千円)、宿泊費(201千円)、施設入館料等(22千円)	594,751	375,000	北陸新幹線飯山駅開業を控え、首都圏のほかこれまで交 流がなかった北陸エリアからもメディア関係者を招き、情報 を発信してもらうことができた。
30	その他 (産業の 振興及び 雇用の拡 大)	ソフト	野沢温泉村ス キー大会事務局 (野沢温泉村)	第88回全日本学生ス キー選手権大会受入事 業	27年2月開催予定の第88回全日本学生スキー選手権大会の開催地 が決まらず、野沢温泉村へ開催地受入依頼があった。スキーの競技人 口の底辺を拡大するため、大会開催を前提に経費の大幅な見直しを行 い、イベント的な部分は極力削り、競技に重きをおいた予算案を作成で きたことから、野沢温泉村での開催を決定し、住民参加によるおもてなし で記憶に残る大会とする。 ①ガイドブック作成費(1,215千円)、五角旗(132千円)、横断幕(345千 円)、ポスター(31千円)	1,728,604	1,296,000	地元住民や一般スキーヤーも会場に足を運び、野沢温泉 村民あげての受入体制により全日本学生スキー選手権大 会が開催できた。
31	その他 (産業の 振興及び 雇用の拡 大)	ソフト	野沢温泉旅館ホ テル事業協同組 合(野沢温泉村)	北陸新幹線「飯山駅」開 業に伴う地域情報発信 事業	北陸新幹線飯山駅開業を一年後に控え、更なる観光地としての魅力 アップを図るため「源泉かけ流しキャンペーン」を実施し、併せてアン ケート調査を実施することで野沢温泉の改善点を浮き彫りにし、今後の 観光地づくりの参考とする。また、併せて外国人観光客により温泉街を 楽しんでもらうための英語版タウンマップを作成する。 ①パンフレット等宣伝費(627千円)、源泉かけ流しPR経費等(700千円)	1,328,210	648,000	閑散期である6月に集客を図るとともに北陸新幹線飯山 駅開業のPRも行うことができた。また、分かりやすい英語 版マップを作成し、毎年多く訪れる外国人の町歩きに役立 てることができた。
32	環境保 全、景観 形成	ソフト	月岡生産森林組 合 笑い声の会 (栄村)	山菜ふれあい交流事業	原野になった林地を刈払い及び徐伐後、野焼などで再整備を行い、す でにある山菜と植栽などで山菜園を整備し、区民と村外者との交流の場 とする。 ①山菜購入費(329千円)、除雪費(300千円)、チップソー(308千円)、丸 太杭(101千円)	1,059,957	777,000	荒廃農地・林地の再整備を行い、山菜類の育成に適した 環境づくりと山菜苗の植え付けを行った。 遊休農林地の有効活用により、景観維持や荒廃地解消に つながったが、今後は、山菜の販売や周辺の再整備に伴う 観光ルートづくり等、更なる発展を期待する。
33	地域協働 の推進	ソフト	信越秋山郷会 (栄村)	秘境秋山郷素朴な観光 おもてなし事業	北陸新幹線飯山駅開業を見据え、津南町、栄村両地域の秋山郷住民 が協働し、昔ながらの生活習慣や豊かな自然が残る秋山郷の魅力を旅行 者が自ら「秘境」を体験できるためのおもてなしや新たな観光メニューの 掘起しを行い、昔からある素朴な観光の振興を目指す。 ①秋山郷総合ガイドブックの作成(2,139千円)、講習会・食のコンテスト 実施(470千円)、柝の実ホルダー作成(134千円)	2,744,248	2,018,000	県境をまたいだ観光連携を新たに始め、その中で秋山郷 の食材を使った「名物料理コンテスト」を行ったところ両地域 以外からの応募もあり入賞するなど、地域にとどまらない 観光支援策となった。また、昨年認定された「苗場山麓ジオ パーク」にちなんだ名称の応募作品があるなどジオパーク のPRにも寄与している。こうした取組は地元住民に広がり をみせており、今後更に発展することが期待される。
33事業						132,318,469	59,678,000	